

## 6-1.社会福祉法人あと会

### 法人基本理念

・本年度も法人全職員を挙げて、法人基本理念である「3Y のこころ」に沿って、施設サービス・在宅サービスにつとめ、地域または施設在住の高齢者の生活支援を実施した。また職員もこの理念に沿った職場作りをし、いきがいのある人生を送れるよう体制作りに努めた。

### 事業方針

・事業方針に従い、法人サービスご利用者の方々に、より充実した個別サービスを提供し生活の満足度を実感していただくべく努めた。国が主導する地域包括ケアシステムの構築に向けて、当会としても、住み慣れた地域で可能な限り生活することができるよう、夜間対応型訪問介護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護等、24 時間体制で支援可能な介護サービス。また、広島市が進める「在宅生活継続支援事業」を特別養護老人ホームくにくさ苑で引き続き受託し、安芸区全域で在宅介護をされている家族等を対象に専門の職員を配置して、サロンを実施する等支援を行っていく。また、全国的に慢性的な介護人材不足が報じられているが、当会においても質の高い人材を今後も安定的に確保するために、教育システムや面接制度等により定着率を高めていく一方で、今年度も広島県内の養成校を中心に広報活動に努めた。結果グループ全体で17名の優秀な人材を確保することができた。平成29年度は、法人をあげて職員満足度の底上げを行うと同時に、人材育成にも力を入れていきたい。

### 運営方針

#### (1) 法令遵守の徹底

・全職員参加の研修を本年度も継続して実施し、全職員に法令遵守の徹底を行った。また、外部講師を招いて法令遵守に関する研修も別々実施し、今後ますます社会の関心が高まる中、個々の職員に徹底することができた。

#### (2) サービスの質の向上と事例発表大会の実施

・各施設・事業所ごとにサービスの質の向上を目的とした事例発表大会を実施した。19事業所・部署により発表を行い、関連の深い種別毎に5つの種別に分かれて実施。法人内の他の事業所の取り組みの水平展開を図った。

#### (3) 適正な法人維持資金の積立

・前年度に引き続き、BSCを用いた事業計画を各事業所ごとに立案し、事業所ごとの財務目標を明確にし、収益の向上を図った。

(4) 優秀な人財の確保

・法人本部で採用を一括して行い、就職説明会を年間2回実施し、延べ92人に参加いただくことができた。結果、全国的な求人難にもかかわらず、平成29年4月には17名(うち介護福祉士4名、社会福祉士7名、管理栄養士2名)の新卒者採用、目標達成に至った。

(5) 教育体系・キャリアパスの改善

・本年度より、各事業所の専門職種の主任クラスが集まって、各職種ごとにサービスの平準化・質の向上を目指した取り組みを実施する部会を立ち上げた。また、各部会長を含めた法人研修委員会を開催し、法人全体の階層別研修を計画的に実施した。

(6) 海外交流の促進

・スウェーデン・パティレ市との人材交流を目的とした研修を本年度も継続して実施し、本年度は、グループで2名の現場職員を派遣。パティレ市からも現場職員の受入れを行い、現場レベルでの交流に努めた。本交流事業は次年度以降も引き続き継続実施する。また、ドイツからのボランティア留学生についても引き続き受け入れた。

(7) マニュアル類の整備、5S運動の徹底

・本年度は、くにくさ苑、りは・くにくさ、ふかわ・くにくさ、でじま・くにくさの5S運動を実施し、各施設毎に作成したチェックリストに基づき、評価を実施した。評価内容については、各施設にフィードバックし、評価に基づく改善を写真つきで報告し、改善を図った。本運動については、次年度も継続して実施する。

(8) 地域貢献事業の推進

・阿戸地区まちおこし委員会に職員を派遣したり、また家族介護者教室に専門職を積極的に派遣し、地域福祉の増進に寄与することができた。次年度以降も社会福祉法人の使命として地域に愛される施設づくりを進めていく。

